

香里

校区だより

＝発行＝

香里校区コミュニティ協議会

香里校区福祉委員会

広報部会

6年ぶりの餅つき

先生がお餅をつきだすことともたちからヨイショ!!ヨイショ!!の
掛け声があがり、力強い杵の音にオーという歓声がわきました



1月11日
香里フェスティバルより



祝 100号



香里校区の

あ・ゆ・み

シリーズ:認知症予防

- 1991年*校区だより第1号発行
 - *夏祭りを「ふれあい祭」として再開
- 2000年*コミュニティ協議会発足
 - *いきいきサロン高齢者支援事業立ち上げ
- 2001年*たんぼぼパトロールをPTAが開始
- 2004年*自主防災会発足
- 2005年*子育てサロンスタート
 - *学校からの依頼を受け校門監視を始める
- 2006年*見守り隊開始
- 2008年*第53号最優秀グランプリ受賞
- 2013年*青パト導入
- 2018年*介護予防・日常生活支援総合事業
 - 居場所事業(ほっとカフェ)立ち上げ
- 2020年*新型コロナウイルス感染症により校区の活動が全て休止
 - *新しい生活様式での活動再開
- 2022年*3年ぶりにふれあい祭再開
- 2023年*8年ぶりにとんど再開
 - *第95号で初のカラー版を発行
- 2026年*強風のためとんどに点火できず

やっぴりカラーだより事件に思う

本年に入り早や四ヶ月が過ぎましたが、あまりにも大きな事件が相つぎ発生しました。一月十七日の突然の阪神大震災、続いて東京地下鉄のサリン事件、警視庁長官銃撃、そして一連のオウム事件と横浜駅舎の劇物事件等、正に全国を震撼させ且つ、世界各国を戦慄させて、日本の安全神話が脆くも、崩れてしまいました。わずかに四ヶ月の間にこれだけの大事件が続出したのは、私のみではないと思います。本当に、「いやな世の中」と、言わざるを得ません。

大地震による未曾有の被害は、三十六万人の被災者と、五千五百人の死亡者をもたらし、今尚四万人以上の人が避難生活を、余儀なくされています。他方政府、兵庫の復興計画は遅延として進まず、取り残された被災者の、前途はまるで見えてこないのが現状ではないでしょうか。こうした中で、献身的な救助活動に活躍したボランティアの姿は、眼を見張るものがあり、被災者の人達に生きる勇気を、かぎりなく与えたことは、私達の歴史に、新たな一ページを作ったと言えるでしょう。そ

会長 原田 豊一

さまざまな事が起こったなか、阪神淡路の地震では被災された多数の方が当校区にも避難して来られました。当時は社宅や合同宿舎が多くあり、その空き室が避難場所として提供されました。

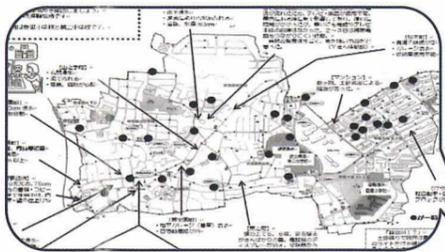
福祉委員会をはじめ香里園協和会、D地区自治会がお見舞金を持って避難して来られた方を訪問。香里小学校に転校してこられた児童には文房具をおくりました。

②運動で認知症を予防する

運動は生活習慣だけでなく認知機能の低下を抑え認知症を予防する効果が期待できます。ウォーキングなどの有酸素運動はもちろんですが「外出すること」は頭とからだを活性化させる重要な役割があります。外出することで歩いたり誰かと話したり風景を見たりして、外部から刺激を受け身体活動や認知活動の量を増やすことができます。

認知機能の維持・向上のためには週に3日以上、1日15分から30分ほどの運動、なかでもウォーキングなどの有酸素運動が効果的だといわれています。

- ### 有酸素運動
- ウォーキング
 - 水中ウォーキング
 - ラジオ体操
 - ヨガ
 - 太極拳
- など



香里 校区だより

2008年8月6日 第53号

広めよう!地域の防災意識

8月6日夕刻 予測を超えた豪雨の襲来 地域対策と共に水害対策にも取り組ましよう

2008年8月6日の豪雨被害状況とリアルな体験談を校区地図で場所を示しながら掲載。防災意識を喚起した第53号が枚方市機関紙コンクールで最優秀グランプリを受賞しました。

香里 校区だより

2023年 2月19日 第95号

いつもの日常に戻ってコミュニケーション促進 社会福祉協議会の方に教えてもらい地域実習の学生さんと一緒に楽しい時間をすごしました

当校区では紙面作りから印刷まで広報部自ら手作りで作成してきました。しかし、カラー版で発行されている校区が多くなるなか私たちもカラー版が出来ないかと検討を重ね、第95号で初めてカラーでの校区だよりが誕生しました。

「やっぱりカラーだと映えるね」とは自画自賛でしょうか?皆様のご感想はいかがでしょう?

2024年 2026年

香里校区には神社・お寺がなかったのが伝統的な行事をと考えて「青少年を守る会(当時)」が主催して「とんど」をはじめました。今年は強風のため残念ながら点火できませんでした。このようなことは初めてですが、校区の皆様にとりまして良い1年でありますように。

100号によせて

コミュニティ協議会会長 森 政義

1991年創刊より発行して頂いて今回100号を迎えます。香里校区福祉委員会、広報部会の皆様へ感謝申し上げます。限られた時間の中で校区内の数々の行事、ボランティア活動やイベントの紹介、行事予定など色々な地域の情報発信をされています。

コミュニティ協議会は今後も地域各団体と幼稚園・小学校・中学校の協力を得て、世代を超えてふれあえる地域社会を目指しています。そのためにも校区だよりの情報発信に期待しています。

地域活動を継続していくために一人でも多くの皆様に行事への参加、ご協力をお願いいたします。



オオカミバンチは、大阪・関西万博の大阪ヘルスケアパビリオンでSDGsの取り組みの象徴のひとつとして10体が展示されていました。万博閉幕後は、アートを必要とする人・場所に貸し出され各地を巡っています。

香里フェスティバルで
オオカミバンチに座る
森会長

かわいました

民生委員・児童委員

北岡 佐智子（香里園東之町）

2025年12月1日付

伝言板

*いきいきサロン

毎月2日 D集会所

午前10時から午後1時

毎月5日 香里会館

午前10時から午後2時

*ほっとカフェ

毎月第2・第4火曜日

第二香里会館

午前10時から11時30分

*歳末助け合い募金に

ご協力いただき

ありがとうございました

香里校区福祉委員会

香里小学校 創立 80 周年



児童がデザインした
横断幕

管外研修



12月1日管外研修で大東市の社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会【支援センターさくら】へ施設見学に行きました。さくらでは障がいのある人が主体的に豊かな生活を送れるように「働きたい」「この地域で暮らしたい」をサポートしています。就労支援の一環としてスワンカフェ&ベーカリーを運営しており一人ひとりにあったプログラムで「はたらく」「成長する」をサポートしています。



子育てサロン

2月	4日(水)	香里会館
3月	3日(火)	香里会館
4月	16日(木)	香里会館
5月	22日(金)	香里会館

10:00~11:30

ポスター掲示でお知らせ